

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度							
事務事業名	地域活性化DMO推進事業（政策）						事業類型	一般事務
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 まち・ひと・しごと創生法 地域再生法
			07	01	02	14	政策経費	
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 産学官連携の推進						市民協働	行政の関与
	1 産学官連携						担当課係等	観光課
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業						観光DMO推進担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光DMOの観点から、地域の様々な事業者が連携し地域の資源を活用した事業を構築・展開することで、交流人口の継続的な拡大、新たな産業化の実現・雇用の創出へつなげ「稼ぐ地域づくり」を目指す。	【関連事業】 農山漁村活性化推進事業
【期待される効果】 交流人口の継続的な拡大、新たな産業化の実現・雇用の創出といった「稼ぐ地域づくり」に資する	【対象者】 市民
【全体概要】 具体的には、交流センターを拠点に事業を展開する「株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー」を中心に、歩崎地域や近隣の観光資源を効果的に組合せ、磨き上げ、魅力をアピールし、来訪客が年間を通じて域内に訪れ、賑わいと経済活性化がもたらされる地域づくりを行うものである。	【特記事項】 まち・ひと・しごと創生事業関連での平成30年度から新規事業化
【令和 2年度 事業内容】 ・歩崎地域観光振興アクションプランの実施 ・体験プログラムの実施など ・montbellとの連携	【令和 3年度 事業内容】 ・歩崎地域観光振興アクションプランの実施 ・情報発信ツール作成 ・湖上体験プログラムの実施など ・montbellとの連携 ・歩崎栈橋を活用し湖上のアクティビティを強化するため、レジャー備品等を保管する多目的倉庫を設置
【令和 4年度 事業内容】	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	2,200	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	982	924	0
歳入計（千円）		3,182	924	0
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 旅費	45	0	0
	10 需用費	13	0	0
	12 委託料	2,200	0	0
	18 負担金、補助及び交付金	924	924	0
内訳				
歳出計（千円）（A）		3,182	924	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.60	0.60	0.00
職員人件費（B）		4,670	4,670	0
総事業費（A）＋（B）		7,852	5,594	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	歩崎地域観光振興アクションプラン事業	事業数	目標	2.00	1.00	0.00
	（㈱かすみがうら未来づくりカンパニーと連携し、アクションプランに基づく、運営面も考慮した具体的な新体験プログラムの実施		実績	4.00	1.00	0.00
	地域推奨品の販路拡大	品目	目標	15.00	20.00	0.00
	ECサイトで取り扱う商品数		実績	68.00	61.00	0.00
成果 指標	観光消費額の増加	千円	目標	1,000.00	1,000.00	0.00
	新たな体験プログラムの実施により発生する観光消費額の増加分		実績	200.00	375.00	0.00
	売上額の増加	千円	目標	60,723.00	59,406.00	0.00
	（㈱かすみがうら未来づくりカンパニー売上額		実績	75,102.00	72,316.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光DMO事業は、官民連携によってかすみがうら未来づくりカンパニーを設立させ取り組んでいる重要施策であるため、密接に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 本市が出資して設立した会社を中心として、行政だけでは補えない役割を担うとともに貴重な成果を創出していることから妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 古民家江口屋や歩崎棧橋を活用することで、歩崎地域への誘客をさらに促す事業展開が可能となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 交流人口の増加や地域商品の消費拡大など確実に実績を積み重ねている。地域創生の柱として事業化したものであり、休止については地域の機運向上や連携強化に影響ができることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 多くの事業が派生し、連携する事業者も多岐にわたる。このため、事業目的や成果に合わせて細分化及び再統合することは可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業の成果は事業費や人件費に比例するため、現段階での削減は事業に支障がでることが懸念されることから、一定の成果が得られてから検討することとする。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 交流人口の増加を目的にしていることから、不特定多数の方々を受益者と捉えているため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	歩崎地域振興アクションプランにおける、具体的な短期・中期・長期の目標達成のため、更にかすみがうら未来づくりカンパニーとの連携を強化して確実に実施していく。また、サイクリングのほか、棧橋活用による湖上アクティビティなど、客層の掘り起こしや新たな事業を計画していく。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画） 古民家江口屋や歩崎棧橋を活用した体験型プログラムの展開と活動をもっとPRしていく。また、朝市（HAYAOKI歩崎）と連携できる観光メニューを充実させるなど、交流人口の増加による稼げる地域づくりのモデルとなる取り組みを進める。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーの指導・監督を行い、新たに整備された古民家や歩崎棧橋などを活用した新たなプログラムの開発を進め、交流人口の増加に取り組むことが重要である。	

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	シティプロモーション事業（政策）						事業類型	その他	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	特になし
			07	01	02	15	政策経費		
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(4) 広報・広聴活動の充実						市民協働	市民の関与	
	1 広報・広聴						担当課係等	観光課	
①広報活動の推進						自転車・企画推進担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略のうち「新しい人の流れをつくる」の実現に向け、市の知名度向上や特産品などのPR及び販路拡大などによる交流人口の増加を図る。	【関連事業】 しごと創生事業(政策)
【期待される効果】 地域資源のPRを推進することにより交流人口が増加するとともに地域産業の活性化を図る。	【対象者】 市民 市外の住民
【全体概要】 ・シティプロモーションの推進を図り交流人口の増加による地域の活性化を図る。	【特記事項】 平成30年度からしごと創生事業から新規事業へ
【令和 2年度 事業内容】 ・シティプロモーションの推進 ・県人会等でのPR活動 ・都内での市産の食材のPR活動 ・市公式キャラクタープロモーションツール作成 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・シティガイドブックの作成	【令和 3年度 事業内容】 ・シティプロモーションの推進 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・SNS等を活用したキャンペーンの実施 ・地場産品を活用した食のプロモーション活動 ・プロモーション動画等の制作
【令和 4年度 事業内容】	

■ 事業費

		R02年度	R03年度	R04年度	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	一般財源・その他	6,883	7,703	0	
歳入計（千円）		6,883	7,703	0	
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	
	08 旅費	2	6	0	
	10 需用費	1,380	978	0	
	11 役務費	472	185	0	
	12 委託料	5,023	6,534	0	
	13 使用料及び賃借料	6	0	0	
歳出計（千円）（A）		6,883	7,703	0	
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減	
職員人工数		1.08	1.08	0.00	
職員人件費（B）		8,405	8,405	0	
総事業費（A）＋（B）		15,288	16,108	0	

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	シティプロモーションの取組	式	目標	14.00	14.00	0.00
	交流イベント等の参加による首都圏へのPR		実績	30.00	82.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	情報交流人口の拡大	人	目標	10,000.00	10,000.00	0.00
	プロモーションキャンペーン等による情報交流		実績	23,000.00	15,000.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 シティプロモーションによる認知度の向上や交流人口の拡大に寄与している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光PRだけでなく、地域資源や地域商品など、市全体の魅力を広く伝えるプロモーション事業は非常に重要な施策である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市外のみならず目を向けるのではなく、市民に対する情報発信も継続し、参加型のプロモーションを企画していくことが求められる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 当市のポテンシャルを十分に生かし切れていない現状を打開するための施策であるため、将来的な展望に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 シティプロモーションは、市の魅力を総合的にPRすることによって相乗効果が期待できるので、庁内体制を強化して市全体としての取り組みが必要である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 費用と人員を増加させることにより、その効果が飛躍的に向上できる事業である。また、組織的な取組が不可欠なことから、連携体制の構築が必要。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市全体に影響がある施策のため、公平性は確保されている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	市民に対するシビックプライドの醸成や、リピーター確保のため近隣市町村へのPRも継続して注力していく。また、市公式キャラクターを積極的に活用しながら老若男女にマッチングするプロモーション企画を検討していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 公式キャラクターやSNS（公式LINEなど）を活用し、積極的な市のPRを展開することにより、交流人口の増加を図る。また、市全体のプロモーションをより効果的な取り組みとするために、連携体制の構築など、体制強化を検討する必要がある。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 市のイメージや知名度を高めることにより、交流人口の増加と活性化を図り、本市が持つ様々な魅力を市内外に効果的、戦略的に発信することが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	観光PR推進事業（政策）						事業類型	広報・啓発	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	03	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
①観光の推進体制とPRの充実						観光担当		自転車・企画推進担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 県観光協会等の各種関係機関との連携により、県外も含め広域的に市の観光を周知させるとともに、市ブランド「湖山の宝」の形成による地域地名度を高める。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 県及び観光関連団体、関係市町村との連携を推進し、県外も含め広域的に当市の観光をPRさせる効果がある。	【対象者】 観光関連団体、来客者	
【全体概要】 県及び県観光協会・JR東日本・水郷筑波国定公園近隣の関係市との連携を促進し、県外も含め広域的に市の観光を周知させるためのPRを行うとともに、新たなソーシャルネットワーク活用により、観光交流人口の拡大を図る。	【特記事項】 なし	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・PR動画（帆引き船）の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・湖山の宝普及促進 ・観光ガイドマップ作成 ・JAF（日本自動車連盟）との連携 ・広域観光団体との連携 	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	45	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	2,192	1,664	0
歳入計（千円）		2,237	1,664	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 旅費	0	5	0
	10 需用費	299	437	0
	11 役務費	5	4	0
	12 委託料	1,933	1,218	0
歳出計（千円）（A）		2,237	1,664	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.55	0.55	0.00
職員人件費（B）		4,281	4,281	0
総事業費（A）＋（B）		6,518	5,945	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	観光PR回数	回	目標	10.00	10.00	0.00
	県内外で観光PRを行った回数		実績	4.00	3.00	0.00
	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	10,000.00	10,000.00	0.00
	観光PRパンフレット配布枚数		実績	64,354.00	50,099.00	0.00
成果 指標	市観光協会のホームページ閲覧数	件	目標	200,000.00	200,000.00	0.00
	市観光協会のホームページ閲覧者数		実績	324,042.00	380,942.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 関係機関などとの広域連携により、広く本市の観光をPRするとともに、ソーシャルネットワークサービス等を活用し、国内外からの観光交流の拡大を図ることは政策体系そのものと思われる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光関連事業者等と連携を図り観光事業を展開していくことは、行政の関与が必要不可欠であり、積極的に事業を行うべきものと思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光関連事業者等と連携し、地域の活性化のためには継続的に観光PRを推進していく必要があると思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止した場合には交流人口等が減少し、地域の活力が損なわれることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 観光関連事業者等と多様・多角的な連携を図っていくことで観光振興が図られると思われる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、状況に柔軟に対応できる観光環境づくりを進める必要がある。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内外の不特定多数者への事業であり、利用にあたって制限はないことから公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	観光PRの方法・内容等は多様であり、常に状況に応じた方策の検討、随時PR方法の見直しを行っていきながら活動していくことが必要と思われる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 提供する観光情報の更新や映像の充実など、積極的なPRを推進する。また、観光アプリ登録者数やリニューアルした湖山の宝劇場HP閲覧数の増加に努め、有効活用を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 湖山の宝など特産品の振興や観光客の誘客促進など、地域経済の活性化につながるよう、様々な情報発信ツールを活用した取り組みが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	観光交流推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	07	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
②観光資源の活用						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光協会が実施する諸事業を補助することにより、市の観光情報の提供や知名度を高めることを目指す。また、毎年実施される、かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引き船フェスタを市民の交流とふるさと意識の高揚の場とする。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 観光協会が主体となって県内外へ当市の観光及び特産品をPRすることで市の認知度が深まり、交流人口の増加が図れるとともに地域活性化に寄与できる。また、祭やイベントを開催することで交流人口の増加やふるさと意識の高揚が図られる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 帆引き船の操業や各種イベント（かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引きフェスタ）を開催し、文化団体の発表や地場産品等の展示販売を行うことにより、地域文化の創出と産業の振興を図る。	【特記事項】 観光案内等件費（果樹観光の予約、観光帆引き船予約等）を検討	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会補助金 ・かすみがうら祭実行委員会補助金 ・果樹観光協会補助金 ・あゆみ祭り補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・かすみがうらフェスタ ・観光協会補助金 ・果樹観光協会補助金 	

■ 事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	7,264	19,110	0
歳入計（千円）		7,264	19,110	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	7,264	19,110	0
歳出計（千円）（A）		7,264	19,110	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		1.35	1.35	0.00
職員人件費（B）		10,506	10,506	0
総事業費（A）＋（B）		17,770	29,616	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	観光イベントの開催	回	目標	12.00	12.00	0.00
	観光の周知拡大と市内の魅力を伝えるためのイベントを開催		実績	18.00	25.00	0.00
	イベント周知対象者	人	目標	500,000.00	500,000.00	0.00
	広報誌、チラシ、新聞などでイベントを周知した人数		実績	47,100.00	36,000.00	0.00
成果 指標	交流人口	人	目標	90,000.00	100,000.00	0.00
	かすみがうら祭、あゆみ祭り、帆引き船フェスタ等のイベント開催時の来場者数		実績	0.00	477.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 果樹園や帆引き船などの観光資源や観光拠点を活用し、地域産業の振興を図り、魅力ある観光地づくりを目指すことや体験型観光、全国からの参加者を促し地域の活性化を図ることは重要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光関連事業者等と連携を図り観光事業を展開していくことは、行政の関与が必要不可欠であり、積極的に事業を行うべきものと思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コロナ禍にあって事業の実施方法等を含めた方向性について模索していく必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止した場合には交流人口等が減少し、地域の活力が損なわれることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 広く類似事業等と連携を図ることで一層の成果が期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 コロナ禍にあって事業展開の方向性を検討・模索し、継続的に費用対効果を高める努力が必要と思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内外の不特定多数者への事業であり、利用にあたって制限はないことから公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見据え、今後の事業の検討・新たな模索等を行い、観光資源の活用を図っていく必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染症対策を講じた継続可能であるイベントの展開・検討が必要である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 本市の観光事業の推進と観光資源の活用を図り、観光協会会員や地域経済の更なる発展に波及するような取り組みが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	雪入ふれあいの里公園等管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	09	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
身近な自然環境の中で昆虫や野鳥観察及び植物とのふれあい、これらの観察を通じて自然への理解を深める。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
自然環境の豊かな公園で自然とのふれあいを求める来園者が多く癒しの空間となっている。	来客者	
【全体概要】	【特記事項】	
雪入ネイチャーセンター及び三ツ石森林公園の維持管理を指定管理者に委託することで、事業の実施また当該施設の有効活用を図る。	なし	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
・指定管理者委託	指定管理者委託	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	16,200	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	43,575	24,906	0
歳入計（千円）		59,775	24,906	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	0	473	0
	12 委託料	22,718	24,433	0
	14 工事請負費	36,782	0	0
	17 備品購入費	275	0	0
歳出計（千円）（A）		59,775	24,906	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.16	0.16	0.00
職員人件費（B）		1,246	1,246	0
総事業費（A）＋（B）		61,021	26,152	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	0.00
	指定管理者からの月報と四半期報の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	回	目標	24.00	24.00	0.00
	協定書に定められた水準にあるか立入調査及び指導を実施する。		実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	公園に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	講座受講者数	人	目標	300.00	300.00	0.00
	しぜん教室の受講者数		実績	99.00	267.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 自然環境の豊かな雪入ふれあいの里公園及び三ツ石森林公園は、自然とのふれあいを求める来園者の観光振興の拠点となっており、非常に重要な役割を担っている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当該施設の目的を効果的に達成するため、指定管理者制度を利用しており事業実施は妥当と思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 三ツ石森林公園はベンチ等が老朽化しており、利用者が満足する環境が整っていない。ニーズに沿った環境整備を行っていくことで、更なる成果の向上が期待できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 ハイキング・自然観察等のニーズがあることから廃止・休止した場合には拠点が荒廃してしまうことが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 筑波山地域ジオパークとしての連携を図っていくことで一層の成果が期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 指定管理者制度を十分に活用しており事業費・人件費削減の余地はない。施設の老朽化が激しく適正に修繕費を計上することで、計画的な修繕も可能になると思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民共有の財産である当該施設の無料利用は公平・公正な運営となっている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	雪入ふれあいの里公園、三ツ石森林公園の継続的な施設整備、計画的な修繕を行うことで利便性の向上を図っていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 施設の有効活用を図るためには、老朽化対策が必要であり、整備を行っていくにはニーズを十分に把握したうえで、補助金等を活用し計画的な整備を進めていく。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 指定管理者の企画・アイデアを生かし、多様化するニーズに応え、また、魅力的な自主事業やイベントの充実など利用者満足度の向上につなげられたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度							
事務事業名	交流センター管理運営事業（政策）						事業類型	業務委託
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 なし
			07	01	03	11	政策経費	
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 産学官連携の推進						市民協働	共催
	1 産学官連携						担当課係等	観光課
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業								観光担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 魅力ある農山漁村を創造し、都市と農村の交流及び地域の活性化を目指す。	【関連事業】 まち・ひと・しごと創生事業(政策)、しごと創生事業(政策)	
【期待される効果】 霞ヶ浦を背景に地域資源として親水空間の創造と農水産業振興との両輪によって活性化が図れる。また、交流センターの設置によって、観光の振興を推進するとともに、観光交流施設として、市民及び観光客の交流促進と、農水産物等の地場産品の消費拡大が図れる。	【対象者】 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー	
【全体概要】 地域資源を十分に活用し、来訪者や市民の交流拠点として、農水産物販売施設、湖上レジャー関連施設等を整備することで交流人口を拡大し、観光産業の活性化を図る。	【特記事項】 平成28年10月より指定管理者制度を導入し、株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーが施設管理を含め事業を進めている。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・交流センター(古民家・棧橋)の指定管理 ・古民家プロモーション事業 ・レストラン事業 ・サイクリングプログラム事業 ・マルシェ等販売事業 ・交流事業 ・地域活性化DMO推進事業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家江口屋における庭園整備業務 ・交流センター(古民家・棧橋)指定管理 ・地域活性化DMO推進事業の展開 ・サイクリングプログラム事業 ・マルシェ等販売事業 ・交流事業(宿泊体験含む) 	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度						
財源	国庫支出金	2,514	9,839	0						
	県支出金	0	0	0						
	一般財源・その他	27,652	42,512	0						
歳入計(千円)		30,166	52,351	0						
歳出	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)						
	07 報償費	0	21	0						
	10 需用費	69	257	0						
	11 役務費	27	36	0						
	12 委託料	29,671	27,655	0						
	14 工事請負費	0	23,969	0						
	17 備品購入費	275	309	0						
	18 負担金、補助及び交付金	0	66	0						
	21 補償、補填及び賠償金	86	0	0						
	26 公課費	38	38	0						
歳出計(千円)(A)		30,166	52,351	0						
(参考)		当初予算額	13,375	当初予算額	41,866	伸び率(%)	決	皆減	予	皆減
職員人工数		0.16	0.16	0.00						
職員人件費(B)		1,246	1,246	0						
総事業費(A)+(B)		31,412	53,597	0						

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動	指定管理者制度の活用 月例報告	回	目標	12.00	12.00	0.00
			実績	12.00	12.00	0.00
指標	交流センターとの連絡調整 立入り検査、運営状況のヒアリング等	回	目標	24.00	24.00	0.00
			実績	24.00	24.00	0.00
成果	サイクリングによる交流人口の増加 サイクリングプログラム利用者数	人	目標	1,200.00	1,200.00	0.00
			実績	1,311.00	1,199.00	0.00
	地域物産の販売額の増加 市交流センターのレストラン・マルシェの販売額	千円	目標	28,530.00	28,530.00	0.00
			実績	38,663.00	32,772.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域資源を活用した観光振興や地場産品の消費拡大など、活力あるまちづくりを目指す活動は、当市の政策に直結するものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーは、交流センターの管理に留まらず、観光振興や地域商社事業による農水産物のプロデュースなど、まちづくり政策に資するもので妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 交流センターの付属施設である古民家江口屋や歩崎棧橋を活用した自主事業等によって、観光交流を促すサービスを実施していくことができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地方創生に資する代表的な取り組みとして進めているもので、休廃止は地域活性化事業を停滞させるものとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 施設の機能や性質に適應する事業者が計画的に事業運営にあたっている。類似する業務が発生した場合は、統廃合や連携も視野に調整可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 成果向上を目指している時期であり、基本的に事業規模を縮小したり、削減する事業ではない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 一般開放する歩崎公園に立地する観光交流施設であり、基本的に利用制約はなく、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	歩崎地域における主要施設の運営は、一般観光客やサイクリストに加え、霞ヶ浦の観光を代表する帆引き船、湖上アクティビティによる誘客に極めて重要な事業である。今後も本市観光事業の主軸として提供サービスを拡充し地域活性化を目指すため、かすみがうら未来づくりカンパニーとの連携を強化する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 石川和彦
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 観光の拠点施設である交流センターは、指定管理制度を導入しているため、指定管理者との意見交換や指導により適切な管理運営を図る。また、付帯施設である古民家江口屋、歩崎棧橋を活用した自主事業を展開するなど、来訪者やリピーターの増加につながる取り組みを推進する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 松延孝之
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 市交流センターは、つくば霞ヶ浦りんりんロードの主要拠点としてサイクリング客の利用も増加しているため、引き続き顧客満足度の向上に努め、リピーターの確保につなげる。また、かすみがうら未来づくりカンパニーについては、古民家や棧橋を活用して新たな観光プログラム開発等による新たな顧客発掘に努めるとともに、市として必要な協力を継続する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度							
事務事業名	観光サイクリング事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし
			07	01	03	13	政策経費	
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与
	1 観光						担当課係等	観光課
②観光資源の活用						自転車・企画推進担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 高まるスポーツ参加型イベントのニーズに対応する自動車耐久レースやサイクリングイベントを切り口に、全国のサイクリスト等に当該地域の魅力をアピールして観光交流人口の増大を図る。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 全国から参加者が集まるイベントを展開することで観光や特産品を全国にPRできる。	【対象者】 サイクリスト、アウトドア志向層	
【全体概要】 かすみがうらエンデューロやライドハンターズ、ライダーマンキッズで構成するレイクサイドサイクルフェスタを開催し、市の観光や地場産品などの資源をPRする。また、つくば霞ヶ浦りんりんロードを活用した「かすいちキャンペーン」をはじめ、キャンプの魅力と自転車活用をテーマにした「ライドヴィレッジ」の開催のほか、新たなアクティビティコンテンツの導入を検討する。	【特記事項】 レイクサイドサイクルフェスタのイベント構成については、COVID-19の感染状況に応じて開催形態を検討する。令和2年6月24日に設立の「かすみがうらアクティビティコミッション」における新たな体験型観光プログラムの導入や、関連して地方スポーツ振興費補助金など国補の活用についても検討する。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・かすみがうらエンデューロの開催 ・ライドハンターズの開催 ・霞ヶ浦まるごとグルメフェスタの開催 ・自転車環境魅力共創事業 ・周回コース修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイクサイドサイクルフェスタ開催 ・JBCFかすみがうらロードレース ・ライドハンターズ ・ライダーマンキッズ など ・サイクリングキャンペーン ・ライドヴィレッジ 	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度						
財源	国庫支出金	4,736	17,810	0						
	県支出金	0	0	0						
	一般財源・その他	10,812	15,022	0						
歳入計（千円）		15,548	32,832	0						
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	07 報償費	201	40	0						
	08 旅費	2	28	0						
	10 需用費	38	328	0						
	12 委託料	10,072	16,177	0						
	13 使用料及び賃借料	0	579	0						
	18 負担金、補助及び交付金	5,235	15,680	0						
歳出計（千円）（A）		15,548	32,832	0						
（参考）		当初予算額	21,639	当初予算額	23,192	伸び率(%)	決	皆減	予	皆減
職員人工数		1.30	1.30					0.00		
職員人件費（B）		10,117	10,117					0		
総事業費（A）＋（B）		25,665	42,949					0		

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	2,000.00	2,000.00	0.00
	大会時における観光PRパンフレット配布枚数		実績	81.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	参加者人数	人	目標	1,000.00	0.00	0.00
	かすみがうらエンデューロレースに参加する人数		実績	0.00	0.00	0.00
	来場者人数(チャリPay)	人	目標	8,000.00	0.00	0.00
	イベントに来場する人数		実績	81.00	213.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 ナショナルサイクルルートに指定の「つくば霞ヶ浦りんりんロード」や歩崎公園を活用したイベントは、交流人口を増加させるうえで重要な観光政策となっている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 この事業を実施することによる、サイクリスト等への地域PRの訴求効果は顕著であり、交流人口の増加や地域産品の消費拡大にもつながっている。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 コロナ禍に即した新たな運営手法を取り入れるほか、ブランディングやPR強化を図るなど、イベントの強みをさらに引き出すことが求められる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 「かすみがうらエンデューロ」は、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線最大の自転車レースとして認知されており、現在は新型コロナウイルスの影響で中止となっているが、地域事業者にとっても影響のある事業になっており、事業廃止には大きなリスクがともなう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 期間型のサイクリングキャンペーンや、ミニマムなサイクリングツーリズムなど、コロナ禍に即した企画をコンスタントに開催していくことで、エンデューロのような集客イベントについて隔年開催も検討できる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 スポンサーの獲得などで事業費の負担を軽減することは可能である。人件費については、職員協力依頼などにより削減に努めている。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 サイクリスト以外の一般来場も受け入れるためのイベント構成となっているため、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自転車環境魅力共創事業として実施するサイクリングサービスや、日常的に楽しめるアクティビティコンテンツを充実させていく。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) コロナ禍における取り組みとして、イベントの常設型、期間型のプログラムを強化する。また、アクティビティコミッションについては、サイクリングなど通期・通年型のスポーツアクティビティや水辺のアクティビティなどへの取り組みを進める。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) サイクリング関連事業の発展が市経済に波及するよう、関係部署、関係機関と連携を深め取り組むことが必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	歩崎公園管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	04	04	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市内の家族連れをはじめ、近隣市民の憩いの場を提供し、誘客に努めるため、観光との連携により観光産業の振興を図る。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 市内の家族連れをはじめとした近隣住民、首都圏等からの観光客に憩いの場を提供し、多様な楽しみ方を満喫してもらうことでリピート率を向上させ、交流人口の増加と地域経済の活性化、地域の活力増強に期待できる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 公園(歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター・艇庫)の清掃作業業者委託・修繕・光熱水費及び土地借上料の計上。	【特記事項】 なし	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・歩崎公園園地整備設計・工事 ・船舶昇降設備撤去 ・樹木伐採 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具設置等 ・伐採、抜根等 	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	10,569	13,055	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	12,892	42,028	0
歳入計（千円）		23,461	55,083	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	3,346	473	0
	14 工事請負費	20,115	54,610	0
歳出計（千円）（A）		23,461	55,083	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予
職員人工数		0.40	0.21	0.00
職員人件費（B）		3,113	1,635	0
総事業費（A）＋（B）		26,574	56,718	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	工事等打ち合わせ等	回	目標	30.00	15.00	0.00
	請負業者、関係機関との打ち合わせ		実績	15.00	15.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	工事進捗率	%	目標	100.00	100.00	0.00
	工事の進捗		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 歩崎公園は観光拠点として重要な役割を担っており、公園整備と管理は必要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興の拠点として位置づけられる歩崎公園の整備は市の役割である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 防衛省の再編交付金及び環境省の自然環境整備交付金等の交付金を活用して整備しており、成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 観光拠点の機能充実を継続的に実施しない場合は、入込観光客数の減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 雪入ふれあいの里公園と歩崎公園の整備は観光拠点整備の中心であり、類似事業や連携事業はない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 防衛省の再編交付金及び環境省の自然環境整備交付金等の交付金を活用して整備しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多くの来訪者が利用する歩崎公園の整備は公平・公正にかなっている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	入込観光客数の維持・向上には継続的な整備が不可欠である。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 歩崎公園は観光の拠点として、各施設が連携し一体的な活用が図られることが有効であるため、老朽化している施設の利活用の検討が必要である。また、農村環境改善センターの利活用について歩崎地域観光振興アクションプランなどに基づき、宿泊機能の充実について検討を進める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 歩崎地域観光振興アクションプランをベースとし、歩崎公園、交流センター、古民家、水族館、棧橋、改善センター、森林公園などを関連活用する総合的な整備計画の検討が必要である。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	水族館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	04	06			
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 観光レクリエーション基地あるいは、広域観光ルートの拠点として、霞ヶ浦を始め、淡水に生息する珍しい魚類等を展示・飼育することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めると共に、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を飼育・展示することで自然保護と動物に対する理解を深めるとともに、教育・文化の発展につながっている。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 霞ヶ浦の魚類や世界の珍しい生き物を飼育展示することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めるとともに、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【特記事項】 平成29年度指定管理者の切り替え（第3期）	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
指定管理者委託	指定管理者委託	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	399	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	8,892	9,405	0
	歳入計（千円）	8,892	9,804	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	0	1,240	0
	12 委託料	8,198	8,165	0
	17 備品購入費	275	0	0
	21 補償、補填及び賠償金	419	399	0
歳出計（千円）（A）	8,892	9,804	0	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減	
職員人工数	0.26	0.26	0.26	
職員人件費（B）	2,024	2,024	2,017	
総事業費（A）＋（B）	10,916	11,828	2,017	

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	0.00
	指定管理者からの月報及び四半期報告の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	件	目標	12.00	12.00	0.00
	協定書に定められた水準にあるか、立入調査及び指導		実績	12.00	12.00	0.00
成果 指標	水族館来館者数	人	目標	47,000.00	48,000.00	0.00
	水族館への来館者数		実績	34,027.00	36,594.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 水族館は市の観光振興を図るための重要な役割を果たしている歩崎公園の一角を担っており、観光拠点整備を含めて重要な観光施設である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 観光振興の拠点として位置づけられる歩崎公園の整備を行うのは、市の役割である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当該施設の目的を効果的に達成するため、指定管理者制度を利用しており事業実施は妥当と思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 歩崎観光拠点の一角を担っており、入込観光客数の減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 水族館事業は本市の特徴的な観光施設と事業であり、統廃合・連携ができない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 当該施設の目的を効果的に達成するため指定管理者制度を利用しており、事業費及び人件費ともに削減の余地がないと思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 入館者に対して入館料を徴収しており、受益と負担の適正化が図られていると思われる。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	施設の老朽箇所も目立ち始めていることから、適正な修繕費を計上することで計画的修繕が容易になると思われる。また、観光施設の魅力を発信し続ける努力を継続することで入込観光客数の維持・向上につながると思われる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 施設の管理運営状況の調査、指定管理者との協議を行い、積極的に自主事業を展開するよう指導を行うとともに、歩崎公園の各施設、イベントとの連携に努め、入館者の増加を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 指定管理者の企画、アイデアを生かし、多様化するニーズに応え、また、魅力的な自主事業やイベントの充実など利用者満足度の向上につなげられたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度						
事務事業名	あゆみ庵管理運営事業（政策）					事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費
			07	01	04	08	
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり					総合計画対象	対象
	(3) 観光の振興					市民協働	市民の関与
	1 観光					担当課係等	観光課
③観光拠点の整備					観光担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）						

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民や観光客の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に資するため、一息つく憩いの場を提供し、水族館や資料館などへの周遊性を高める。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 貴重な茶室専用の施設として、市民及び観光客の余暇の充実に資するため重要な役割を持つ。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 あゆみ庵を有効に活用するため、維持管理費と運営委託の費用を計上する。	【特記事項】 なし	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
あゆみ庵運営事業	あゆみ庵運営事業	

■ 事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	300	300	0
歳入計（千円）		300	300	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	300	300	0
歳出計（千円）（A）		300	300	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.08	0.08	0.00
職員人件費（B）		623	623	0
総事業費（A）＋（B）		923	923	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	あゆみ庵の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	0.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	50.00	50.00	0.00
	あゆみ庵借席件数	件	目標	20.00	20.00	0.00
	一般の人があゆみ庵を利用（借用）した件数		実績	8.00	16.00	0.00
成果 指標	あゆみ庵に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	あゆみ庵来庵者	人	目標	500.00	600.00	0.00
	あゆみ庵来庵者数		実績	196.00	302.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 あゆみ庵は市の観光振興を図るための重要な役割を果たしている歩崎公園の一角を担っており、観光拠点として重要な観光施設である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の観光拠点施設であることから当該施設整備は市の役割である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 あゆみ庵運営委員会へ委託する本事業の運営方法は、費用対効果を考慮した場合経済的方策のひとつと思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 日常的施設管理及び土日等抹茶提供ができなくなり、施設の有効活用が図れなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業はなく、あゆみ庵を管理するための運営委員会であり、統廃合・連携等は期待できない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 日常的管理及び土日等の抹茶提供を他の方法で実施した場合には、現状以上の経費等が想定される。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 施設の管理を委託しているあゆみ庵の事業は、抹茶提供の際には実費用相当分を徴収して運営しており、受益と負担の適正化が図られている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	あゆみ庵運営委員会があゆみ庵の管理をするための組織であり、事業の継続のためには持続性のある組織を目指す必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ホームページやSNSを活用し、施設の誘致に努めると共に、古民家江口屋など周辺施設との連携を強化することにより、利用者の増加を図る。運営委員会の新たな会員の勧誘に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 貴重な茶室専用施設として、観光客が一息つく憩いの場としての利用に加え、市民の教養の向上、余暇の充実のため、茶道、華道等の文化活動の利用も重要と考える。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	農村環境改善センター管理運営事業（政策）						事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	なし
			07	01	04	14			
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政主体	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	単年度のみ								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民の生活改善及び健康の保持、地域連帯感の醸成等、農村環境の整備を組織的に推進する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 観光の拠点ともなりながら、体験、休養機能の充実を図ることで、より魅力ある施設となる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 老朽化している農村環境改善センターを有効に活用するための利活用基本調査を実施する。	【特記事項】 土砂災害警戒区域のエリア指定があり、大規模改修は不可 平成30年度に基本実施設計に着手し、平成31年年度に繰越 予定であったが一旦事業の進行を見直した経過あり。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
	・農村環境改善センター利活用基本調査 業務委託	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	0	3,839	0
歳入計（千円）		0	3,839	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	0	3,839	0
歳出計（千円）（A）		0	3,839	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.00	0.50	0.00
職員人件費（B）		0	3,891	0
総事業費（A）＋（B）		0	7,730	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	改修後に施設運営が行えそうな事業所へのヒアリング調査	事業所	目標	0.00	10.00	0.00
	改善センターの利活用に関する調査		実績	0.00	15.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標		%	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多目的機能を有する改善センターの利活用を含めた施設の改修等は、市の観光政策に直結するものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 農村環境改善センターは、観光振興に必要な施設であり大規模改修等を含めた利活用には行政の関与が必要不可欠である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 改修等により施設の利便性が向上すれば、歩崎地域への誘客をさらに促す事業展開が可能となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 老朽化による施設の改修等を延期や休止した場合は、付帯設備の故障等の際に施設の使用が出来なくなる可能性があり、更なる利用者の減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 農村環境改善センターの整備は観光拠点整備に必要な事業であり、施設の活用においてワーケーション事業等との連携によって更なる利用率の向上が期待できる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 今後の改修において、施設の在り方や改修の方向性の決定、改修するための設計や施工管理には専門的な知識も要するため、事業費と人件費の増額が必要となる。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 多くの市民や来訪者が利用する農村環境改善センターの整備は公平・公正になっている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	観光客数の向上には整備が不可欠である。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石川和彦 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 歩崎地域観光振興アクションプランに基づき、農村環境改善センターの老朽化している施設の改修と宿泊機能の充実が必要となっていることから、今後は改修に向けた準備が必要である。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：松延孝之 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 利活用の基本調査は終了したが、今後は関係部署、関係機関と連携を取りながら改修を進めていく必要がある。		